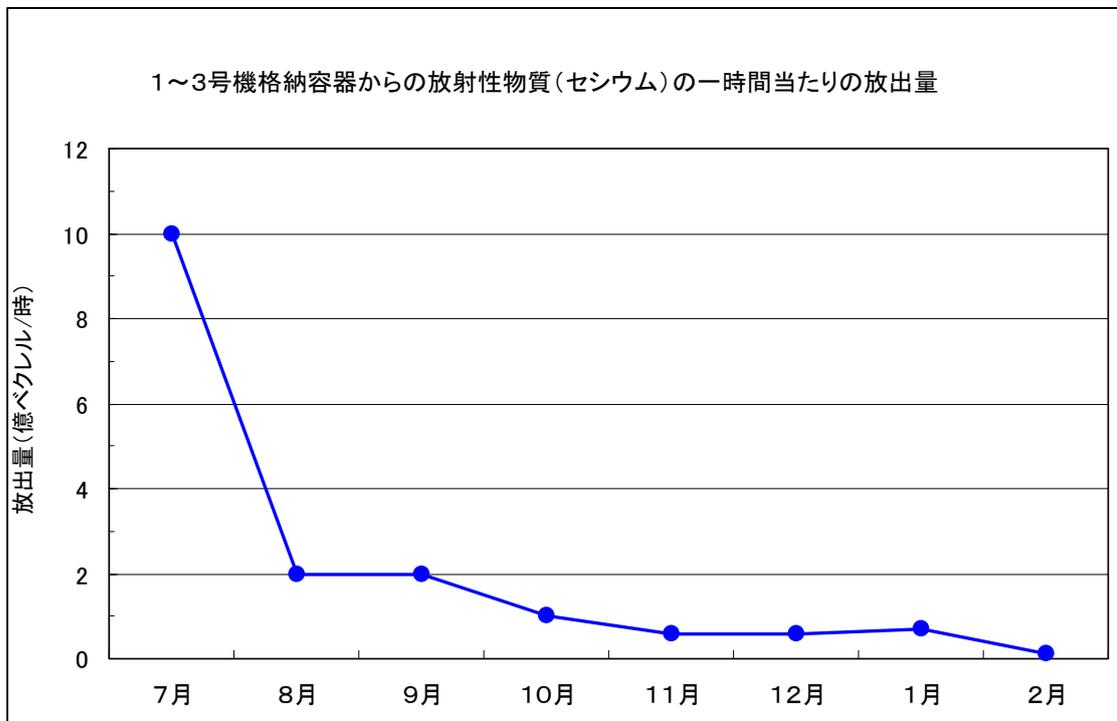


### 福島第一原子力発電所原子炉建屋格納容器からの追加的放出量の評価結果

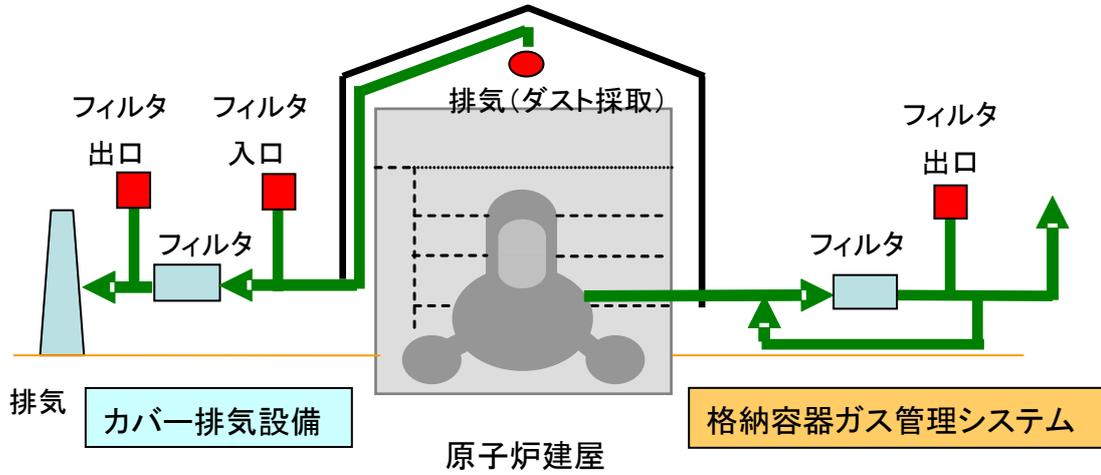
- 1～3号機格納容器からの現時点の放出量（セシウム）を、原子炉建屋上部等の空气中放射性物質濃度（ダスト濃度）を基に評価。
- 原子炉建屋上部等ダスト濃度より評価すると、現放出量の最大値は1～3号機合計で約0.1億ベクレル/時と推定。
- 各々の号機については、1号機約0.004億ベクレル/時、2号機約0.01億ベクレル/時、3号機約0.1億ベクレル/時と推定。



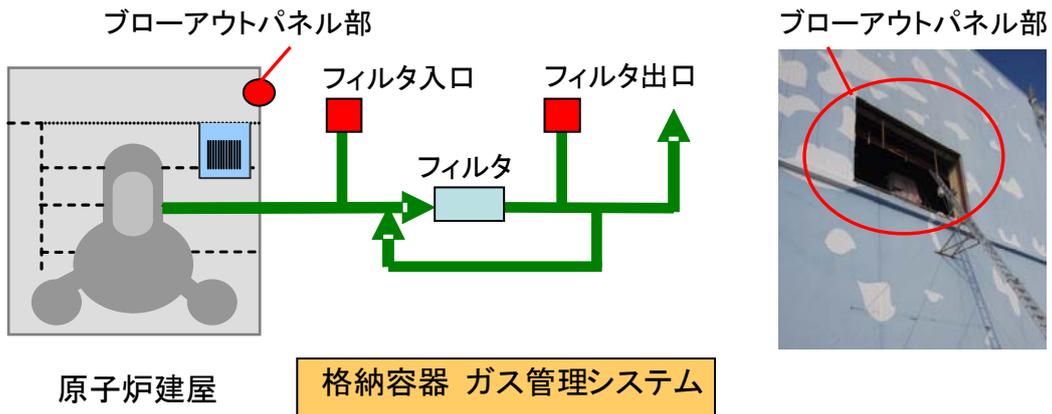
(備考)

- ・格納容器からの追加的放出量を評価するため、今回は放射性物質が舞い上がるような作業が行われていない状況で測定。大物搬入口が閉塞された状態で空気流出量が減ったことから、1月公表時の約0.7億ベクレル/時より低下したものと推定。
- ・希ガスについては、格納容器ガス管理設備における分析結果から放出量を評価しているが、放出されるガンマ線実効エネルギーがセシウムに比べて小さく、被ばく経路も放射性雲の通過による外部被ばくのみとなるため、これによる被ばく線量は、セシウムによる線量に比べて極めて小さいと評価している。

### 1号機のサンプリング設備概要



### 2号機サンプリング設備概要とサンプリング状況



### 3号機サンプリング概要

